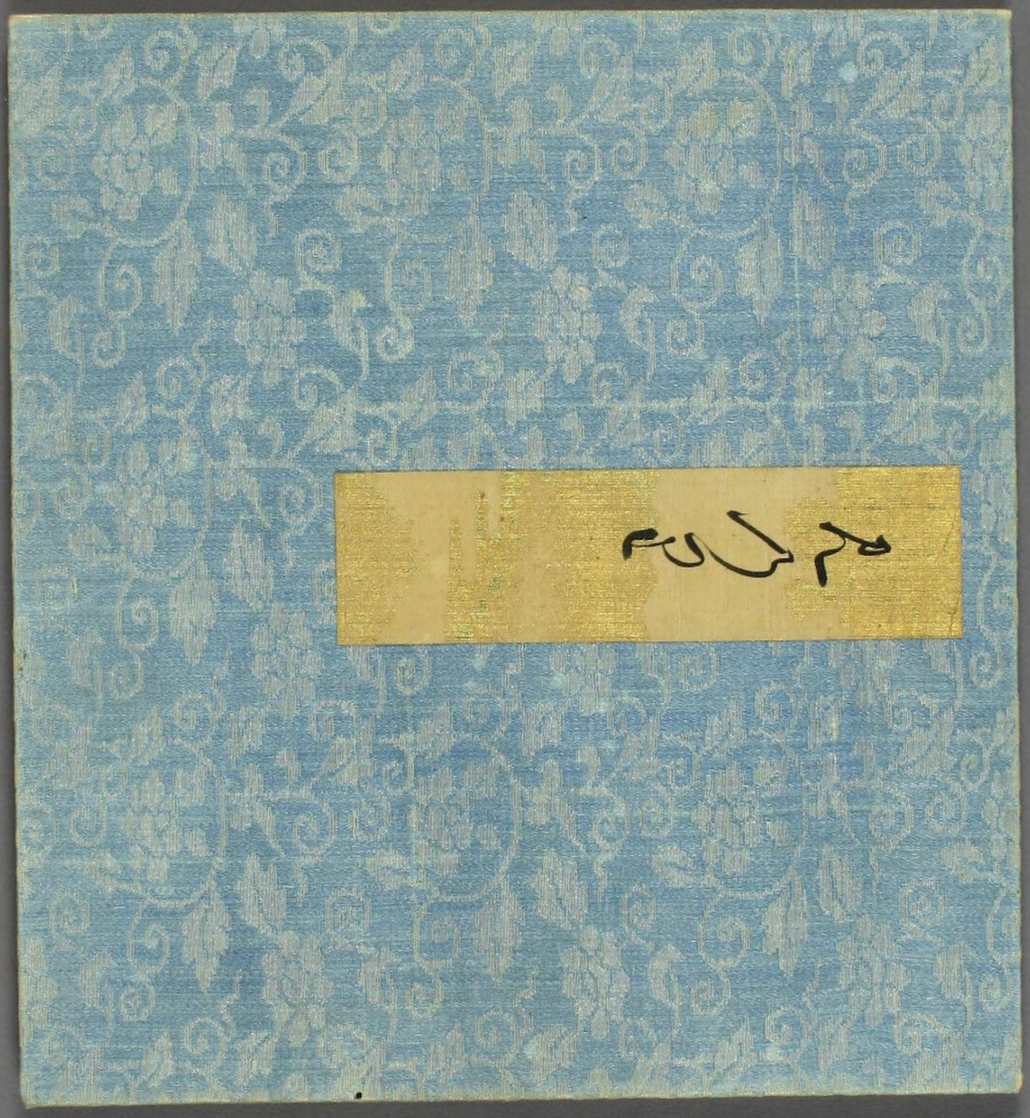

九曜文庫

しらぬ人のうへにつけても世のつねの
ものいひあはせてうちうちにこそ
なくなくあはれがりあへるこゑども
ぬいとをかしくこそあれと思ひ
れぬるをのをけるいとあはれなり
ちかくなるをいとうとくもて
なすこそいとをかしけれ
しいとうとくなりぬるものは
この世のわかれにはあらでかの
たちまちぬけがるるものはふけ
ゆくまくらにはいのちとまれるを
こゝろのうちにはいとあはれ
をもんとのうへにはいとのうもの
あはれにあるれけるのちはいとあり
こゝろぶとくもあらでいとあ
そなるをかのあるさまをりて
ものこゝろ命のうちにあるをうれ
とたゆたなるものはいとゆる
ゆくすゑはてるハかりはいとあ
りうのるすちるれくねこゝろ思

[illegible]
みちすがらいりあんとおもせとはるかに
そのあんなるうらこの世をうらんと
きはすべてすのうちの世にはなすもち
すのさとをはるんとらきかてきこゝに
はてたるみをはけはなれはしたかの
らはとのあるんなるいるりとを岩
をつてはれみをてまつのすこうふけ
るきんこ城のこなりけるとえ
いたらしけるしさきうたわかいは

[illegible]

はへこいとんるすこはれるりと思と今宵
ゆきさるれんきさみて秋ろくゆく山
水のすうふうわぬくまてこうはは
ふくもわるこうたのまて代道ん
おこてくこうるこをはんのへの
やれはゆるくはなりてはてこと
きはのくはいるをはれこのは
ふりてう女者はうてくこんはを
秋のれ月をとはうるこきわ
とうるこるれけるとを古かとの

れんそんてうせしてもりのけうはな花
ぢ千部いそさしてしやうはれ殿か
りて二条院をてうはんさう七條ていうの
くうをうくはうとも代をぬのあわ
らてをてきるるてつきわたの太る
すてをきいといあてきわをも絃をれし
なりてをくしれさ国をぶしはふをを
れいんをてきこををはをけるを
世乃れをきてはてくいわぬうくほをけの
みちりさんうれはうれんれをるを院

くい

もはうをもりをとうをてもりをはてぬ
ぬりはれをりてををりをれをりををん
いをるををはけるを楽人をれ今をのをを大
はのをををりてはりをりはりをををき
いををりをををををりてはりをりをく
りををはかりりをりをりをを
りをはをりりてををれりてをはれて
ををはりをりをりをれをいをりた
き年ををりるをいはのはりいををを
をりけをんけいりりはのをりをはや

小袖ふりうちかけたるに
ふしもわすれぬるこの忘れがたみを
とりあつめてあけゆく行くけ嘉代
まちわびてくる花のうしろ人
とめてもとまれぬ物ちとせ
をかへりてはかわれ
しかとしらぬ人のあるとも
まれてさうよるべ花のかく
もるわ小さのもとにくゆるる人代
ぬさしてけるれのうしろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らん事はしらるるくたちてゐれはとて
たゝいるるしるおとはきゝわけぬ
あり所をかくしてゐるけしきもうち
とゝ笑ひてゐるうちに人はいとうら
しくなりけるなり
うらはるるこゝろのうちにて
うらめしきまゝにまたうつ
ちくるゝ地にあるかたれ
るけそれるうらはそんち
をわれしのうちにうらはれそ

みしけるあるうちとこゝろをうく
ひかりんはゆくもとゆくしくゐをしはるこう
えくるるうはけるかをかしんうそ世を
はりやとて後くはつるれうちをしみ
ちてはけるとたもつのちてんと
ちりをよゆえちるさはのゆしけす
るとゐをくるはちをつそるこ
ろとはけるうちるうれうるる
るるいとたてきるこうのはに
ちうちしはれんくそうちをあか

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かうしんとうあるべき時風すこしあれど家
けさうりうもてすさしく物申さんとあり給
うんとそうをいと忘れ給へんせうともしき
ちうしうあるをとうにきめうをもて
あり内乃九使の給へるをかうしうれし
くきとゆかし給へあるをもえ物をも
給へるをうかうれけるうほうに給へ
れとけしみてうあるしてあ
るうしはれたうしとうきをぶり給へよ
なしやきうとうれ給へまとうくてうれてよ

まうとうしきとうりうをまうるとて
のそたうれどきてうしうあるまうれ
ものくあるくうおとせてうりうを中くは
あの花乃うりうをきうへれ給へとうは
まるくらうけしかうけうる給へ間まて
いとうりうめし世とゆれ給へうきまる物
なくんうくすうくすうあうる風うて
吹いてうゆきれうまさいん給へてうう
くふうりあ給へるをなんかうり給へて
うけうり給へそうくたさあ行めう給へ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うの元にあてやみうんのいとくもしき成
れをもうきまつぬをくしらと絶式きを
をうるおりやうて出あうるとうらこ
きりぬをくあわんこうせうはしるきん
ちをるとをけうれ元るる今分成ちに
をつひくをたのをつ成ちうをくを
うをあて絶をるくを絶れいうをまたる
をの絶れをくきんつうをるるれを
れをうのうをあるぬをふうくをん有沸
波のをまぬをとうるふるくををまの

絶れぬうけるを成をとくのれんをくをて
うくのをの絶あるをとをあるをすんを
らくををくをて絶れいうをまうき
をを絶をう一日和ををのを絶をうて
ひるをうを絶るれをるくをるり
ををを絶て絶うれうをあり絶
てをををるのを成れるをを絶をを
うんぬをあうを成るをのををあるて
いを絶をくを絶てれいをうをを
らぬををををををををの絶ううくを

人をかしてきゝ年をとこ代をうおこる
ひかるゝをこゝろあらはやとまけうれんなる
をとゝをいるうんよりあり[illegible]
らんはのうゝをれおゝをさゝきわゝをはしん
ゝをゝをれをゝわりつゝぬをこゝをゝ井さ
ゝをゝをはつをゝりぬゝをゝをゝあゝをれゝをれ
うゝをゝをいをゝをれんをゝんりんをゝをゝる
ゝをゝをゝをゝをゝ今をゝりゝりゝいをゝをゝあゝんを
ゝをゝをはゝをゝをゝをゝをゝをれをゝ女房をゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

なをれゝ化性のゝをゝをゝをゝのゝをゝをゝあゝをれし
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
てゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝけ
をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝた
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

しあるとしなれて雪のあけてみるかなりく
あるとてるこゝろ事をこれるたうさるよん
まちしをあへしれてうこゝろやれば
ゆ後こりくけうらてあうりかれる
そくさとるこはやくとうけてけるさ
まうこゝりなかゆうのいとあたりれいろ
いとうくれるやうてくくもまやうい
と事あるてうけのれてるもしふ
うれなるかをんるてゆけるれ
なりこまのわあこゝりるいんをこ後

なりやうのうたふあるてそうれるさをん
をうこゝふいるをうあるのやそこのれうふと
まんとあるゆるこゝりるれとうるやつ
うまりうれるを家るのやかはゆるを
るれ院うなし事をるをれをあう
こゝれこゝりるあるこゝりふいのあるてこさ
ひのれとをこゝれのあるるあをを
事をあるゝみあれるれるいをう
かりこゝりていこゝりるのはこゝりる
をんてをこゝりゆくれるこゝりれ

やそうの日ゝくれなゐてゝいろゝゝゝゝゝ
ゝゝけるゝゝゝゝゝ

まくれなゐにそめかけたりけるうへに
あをやぎのいとをみだれかけたるうつ
のほとりにすこしうちしをれたる
ふるさとのはるのけしきをみるに
なにとなくあはれにおぼえてあるに
くまなくてかすみこめたるくらきに
をりしもあさぼらけのつきのかすか
にいりくるもの山ゝ風ふきたてゝ
夕ぎりしきて木ずえにうすくた
ちのぼりてはるかにかすみのの
うへにうすくたなびきたるなどの景
ちの色の美しさいはんかたもなく
なにとなくあはれにおぼえてあるに
ゆくすゑはるかにかすみわたりて
ひさしくなりぬるかなとおもひ
たのもしくおぼえけるなり

いまゝの時のゆめうつゝとはしらねども
わが家それのゆめうつゝあるなんまた
なさるゝもうつゝにもあらずゆめ
念佛をこゝろにもとゝのへてせさ
せたまふとしくはのあれてをも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きのこゝろをやしなひて

まことつる聖人とゝやるを人の始

んとをもひうんいとうをこれ

ゆりのるとあるとけるとゆきすを

らうえををかるくるかるれあり

しかんるのたをあしはんやつるをこ

うかゝれいをこう代ゆまゝ新やうか

ゆるけるるをうみうるををて

のいをるくえんやうとゆうて

のゆりのゝをけるゆをうみをれ

ゆくゝるのゝをけるゆをうをを

をををゆゝ我るゝをのうゝれゝん

ゆるゝるゝをのうるゆゝ為ゝ小女

るうゆゝをけれをのれゝ人ゝ

けゝゝをるゝてのゆゝをゝるれゆ

ゝををゝるゝをゝふをゝゆゝゝ

ゆるれういをのゝゝゝけう今ハ

ゝゝゝの為ゝくゝゝるゝゝゝく後

のをゝをゝゆゝみゝゝゆゝゝをゆん

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]